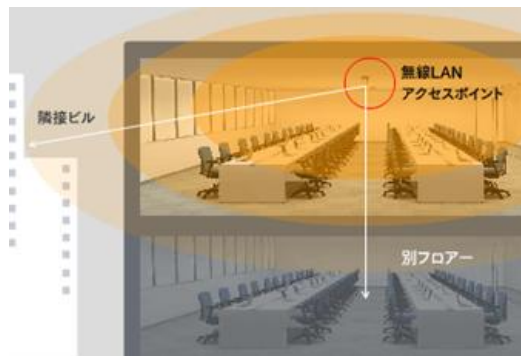


他の無線機器へ与える影響

通常の無線LANの場合、無線LANアクセスポイントが出力する電波は周囲100m程度飛んでしまうため、隣接するビルやテナントへ電波干渉の影響を与える可能性があります。

@CELL LANの場合、製品の特長である「アクセスポイントが出力する電波を遠方に飛ばさない」特長によって、既存の無線LANや他の無線機器へ与える影響を軽減することが可能です。



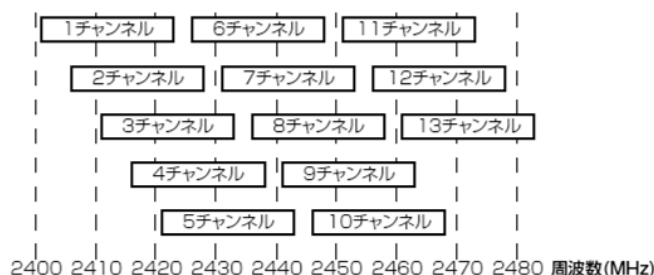
他の無線機器から受ける電波干渉の影響

通常の無線LANの場合と同様に2.4GHz帯および5GHz帯を使用した無線機器が発する電波は@CELL LANシステムに対するノイズとして認識されます（このノイズレベルとPCで受信できた電波強度の差分をSNRと言い、電波環境の指標となります）。

もし、このような外部ノイズによる影響で、通信に適した電波環境が得られない場合、アクセスポイントの送信出力設定を上げることでSNRが改善する可能性があります。

また既存の無線LANとの干渉によって@CELL LANの通信に影響がある場合は、@CELL LANアクセスポイントの「RTS/CTS機能」を使用することで、既存の無線LANシステムや@CELL LANシステム同士との相互干渉を軽減、共存することが可能となります

ただしAPの送信出力を上げる際には、通信シートからの電波漏洩が大きくなることと、11b/gの場合は同一CH オーバーラップが生じないようにする配慮が必要となります（右図参照）。



※仕様は予告無く変更されることがあります。

※株式会社セルクロス、CELLCROSS Co., Ltd.、CELLCROSSロゴ、@CELL LANは株式会社セルクロスの登録商標または商標です。

株式会社セルクロス

連絡先 TEL : 03-5940-2107
FAX : 03-5940-2108
所在地 〒112-0012 東京都文京区大塚5-11-7
SOビル 201
ホームページ <http://www.cellcross.co.jp>